

TOSHIBA 東芝ワイヤレスチューナケース取扱説明書

対 象 機 種

AWT-8222, 8422 (800MHz帯・ダイバシティ)

このたびは、東芝ワイヤレスチューナケースをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めのチューナケースを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

目 次

安全上のご注意	2
各部のなまえと説明	7
設置・接続のしかた	8
■ワイヤレスチューナユニット（別売）の組込みのしかた	8
■アンテナ設置上のご注意	8
■機器間の接続のしかた	9
●1～4チャンネルの場合	9
●5～8チャンネルの場合	9
●9～15チャンネルの場合	10
■BNCコネクタと同軸ケーブルの接続のしかた	11
■平衡トランスの取付けのしかた	11
■ラックマウントのしかた	12
ワイヤレスチューナユニット（別売）のチャンネル設定のしかた	12
チャンネルのグループについてのご注意	13
多チャンネル（最大15チャンネル）使用について	13
ワイヤレスマイクシステムの設計・設置について	14
修理サービス	14
仕様および外形寸法図	15

安全上のご注意

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みにになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

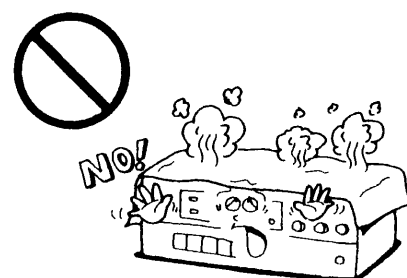
警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

- 通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。
 - サウナや風呂場など
 - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 夏の窓を閉めきった自動車の中
 - 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
 - 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所

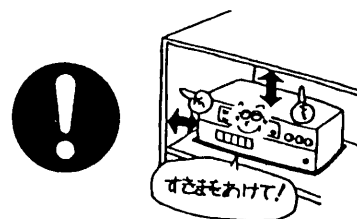


- この機器の通風孔はふさがらないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - 風通しの悪い狭い所におしこむ。
 - テーブルクロスなどをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。
 - 仰向けや横倒し、逆さにする。

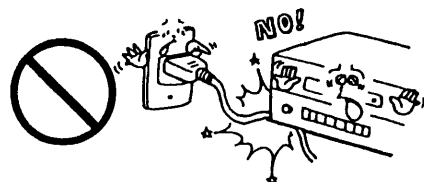


警告

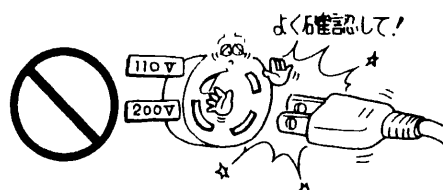
- この機器を設置する場合、間隔をおいて据えつけてください。
また放熱をよくするために、他の機器との間を少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。
内部に熱がこもり火災の原因となります。



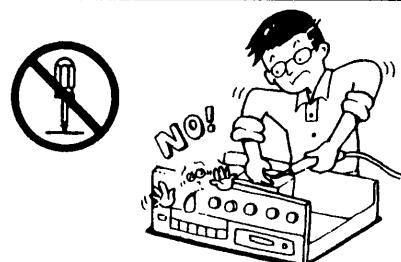
- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。



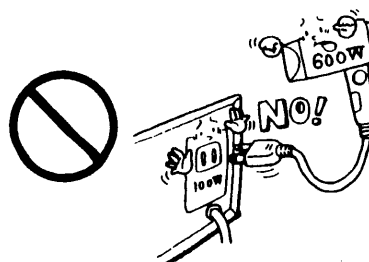
- 表示された電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



- この機器は改造しないでください。
火災、感電の原因となります。



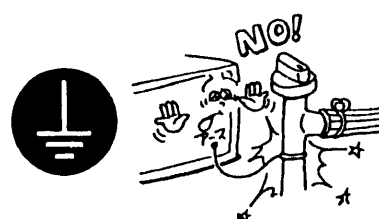
- この機器のACアウトレットが供給できる電力はアウトレット部に表示している値までです。接続する装置の消費電力の合計がこの値を越えないようにしてください。また、供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流が流れる電磁調理器などの機器は、接続しないでください。



- AC100V関係の配線工事は電気工事士にご依頼ください。
一般の人が行うことは法により禁じられています。



- 必ずアース端子は接地してください。
 - 感電事故防止のため、および外来ノイズから機器を守るノイズ吸収素子の働きを活かすために、必ずアース端子を接地してください。
 - ガス管にアースすると危険ですから絶対におやめください。
 - アースはD種（第3種）接地工事（接地抵抗100Ω以下）とし、専用としてください。



警告

〔使うときの注意〕

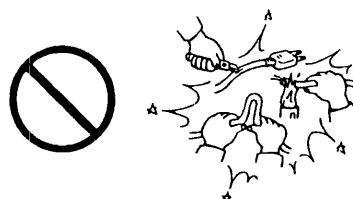
- この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。



- この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの
入った容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。



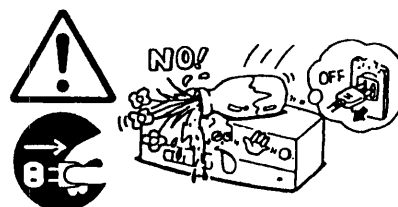
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、
引っ張ったり、加熱したりしないでください。
火災、感電の原因となります。



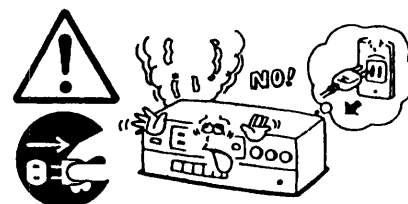
- この機器のカバーは絶対に外さないでください。
感電の原因になります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の
電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店
にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となり
ます。



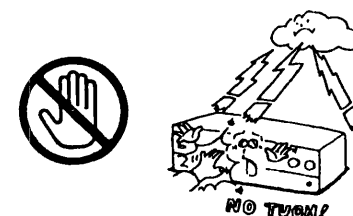
- 万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常な音がするなどの異
常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。
すぐに、本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセン
トから抜いて煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理を
依頼してください。



- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、
機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜
いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本体や電源プラグには触れな
いください。感電の原因となります。



警告

- この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落したりしないでください。
火災、感電の原因となります。



〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

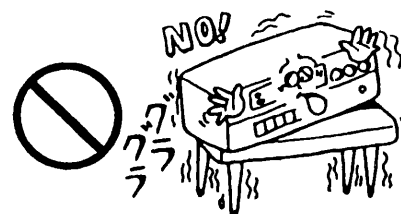
- 電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



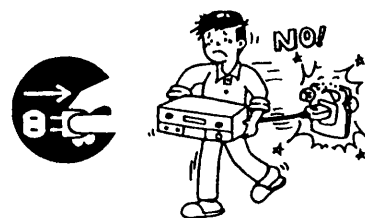
注意

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



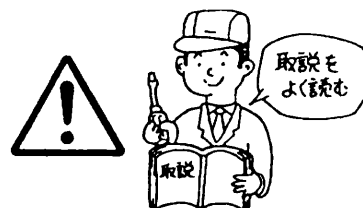
- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。
そのまま移動するとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



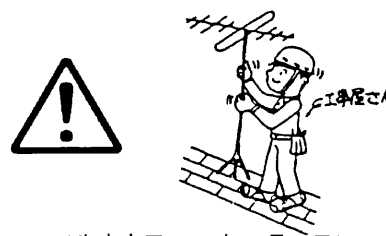
- 機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



- 電源コードや接続機器類のコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

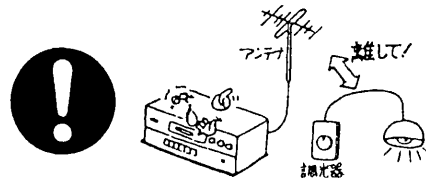


- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。送配電から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となる場合があります。



注意

- アンテナ線と調光器、高圧放電灯（水銀ランプ、メタルハライドランプ）などの配線は離して布線してください。ノイズ発生や誤動作の原因となります。

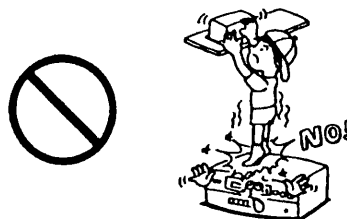


〔使うときの注意〕

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



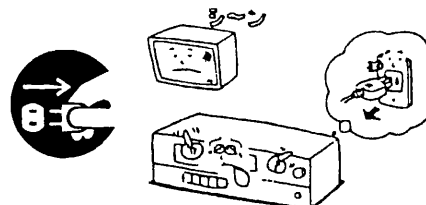
- この機器の上に乗ったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。こわれたりして、けがの原因となることがあります。



- この機器の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

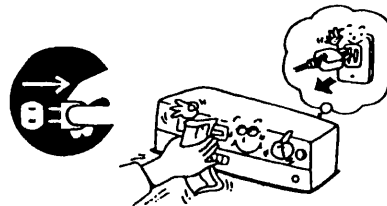


- 使用中に突然音が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店にご相談ください。そのまま放置しておくと、大変危険です。

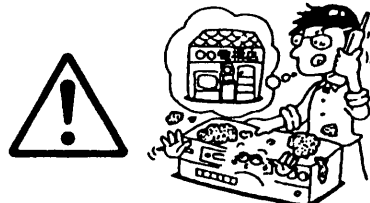


〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

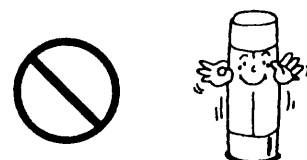
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



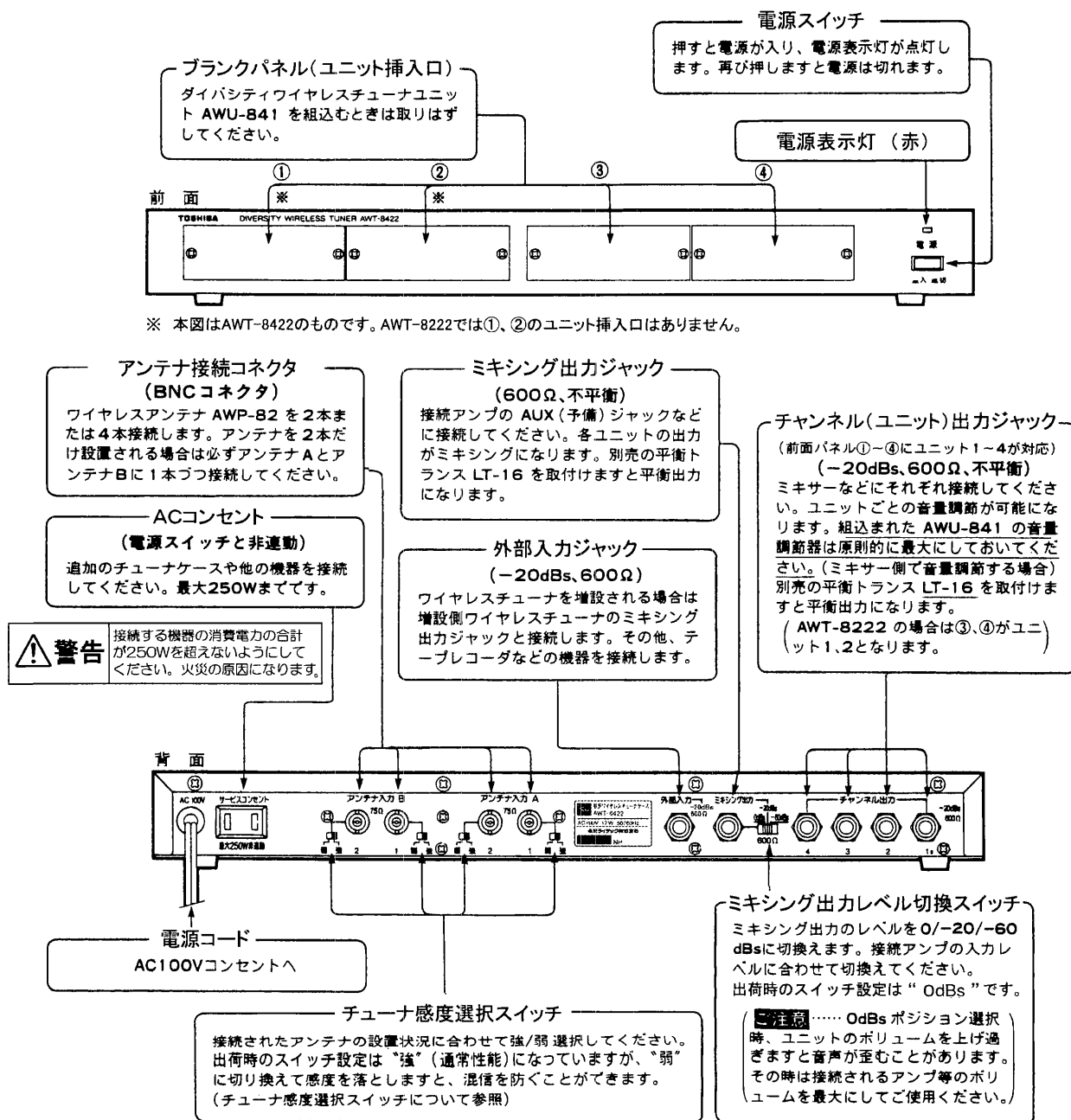
- 1年に一度ぐらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。



- ヒューズを交換するときは必ず指定容量のものをご使用ください。針金や銅線は使用しないでください。機器の保護ができず、発熱、火災の原因となります。



各部のなまえと説明



■チューナ感度選択スイッチについて

次の場合はスイッチを“弱”に設定してください。

- 1) 他のグループのマイクを近接場所（30m以上離れた場所）で同時に使用する場合。
- 2) 同一グループのマイクを近接場所（100m以上離れた場所）で同時に使用する場合。
- 3) 受信アンテナに設置場所によって、マイクが2m以内の距離に接近する場合。
- 4) 多チャンネル使用時に混信などの障害が発生する場合。
- 5) その他、電波障害による混信がある場合。

ご注意

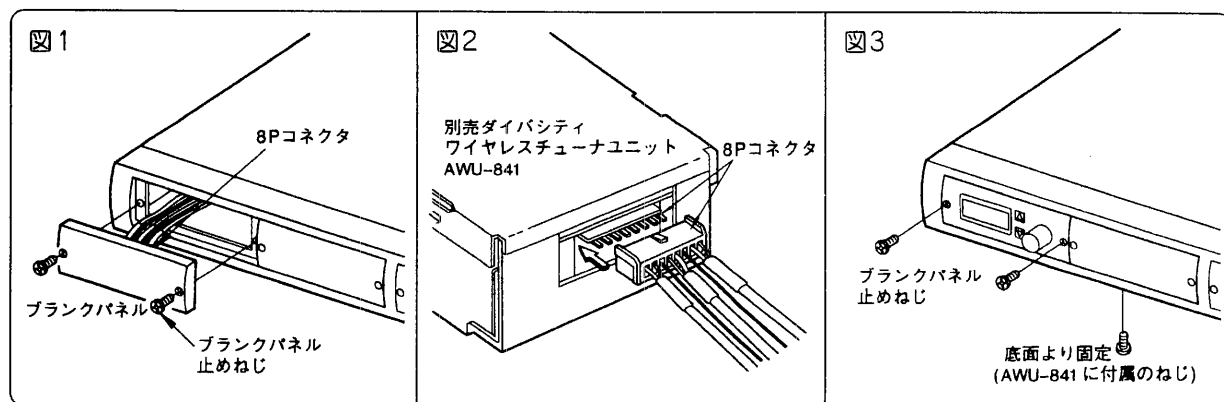
チューナ感度選択スイッチを“弱”に切り換えた場合、ワイヤレスマイクの通達距離は1/2～1/3に減少します。

ワイヤレスアンテナAWP-82内部にも同様のスイッチがあり、設置工事をされる時は十分なテストをおこない、最適なスイッチポジションに設定してください。

設置・接続のしかた

- 次のとおり、設置・接続してください。

ワイヤレスチューナユニット（別売）の組込のしかた



- ① ブランクパネルを取りはずしてください。ブランクパネルの裏側には接続用8Pコネクタが差し込まれていますので、そのコネクタをブランクパネルからはずしてください。（図1参照）
- ② はずした8Pコネクタを図2のようにチューナユニット後面の8Pコネクタに確実に差込んでください。
- ③ ブランクパネルをはずした2本のねじでチューナユニットを取付けてください。さらにチューナユニットに付属のねじで本機の底面より固定してください。（図3参照）

ご注意



注意

取付作業をおこなう場合は必ず、本機の電源プラグをACコンセントから抜いてください。ブランクパネルから8Pコネクタをはずす際にはブランクパネルのロックのツメをはずしてから取りはずしてください。またチューナユニット挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。

アンテナ設置上のご注意

- ワイヤレスアンテナを設置する前に、あらかじめアンテナを仮設し、ワイヤレスマイクの移動範囲内で受信テストを行いデッドポイントが最も少ない所を選んでください。
- 雑音や妨害電波を避けるため、下記のような機器（場所）の近くには設置しないでください。
高周波乾燥機、高周波医療設備、電気溶接機、ブラッシングモーター、デジタル機器（コンピュータ・エレクトーン）、自動車（道路）、静電式空気清浄器など。
- 同軸ケーブルについてご注意
アンテナを接続する前に、同軸ケーブル配線がショートしていないことを確かめてください。ショート状態で電源スイッチを入れると機器を傷めることがあります。
- 同軸ケーブルとBNCコネクタの接続、またはアンテナに直接ねじ止めする場合は完全に接続がおこなわれていないと、高周波損失を招き電波伝送に大変悪い結果をもたらします。十分ご注意ください。
- アンテナと本機との距離が長くなりますと、減衰が大きくなり受信状態が悪くなります。下記表を参考にし、使用する同軸ケーブルをお選びください。

使用可能同軸ケーブル	5C-2V	5C-FB
延長可能距離	約30m	約60m
使用コネクタ	BNCコネクタ、別売AFC-16	

ワイヤレスマイクとアンテナの関係について

- 雑音が入る場合は、ワイヤレスマイクをアンテナに近づけてご使用ください。
- そのときの距離を2メートル～10メートルにしてください。
- 設置場所や使用状況等により、使用していないチャンネルへの飛込みや混信など、誤動作することがあります。その場合は本機のチューナ感度選択スイッチ、またはワイヤレスアンテナ内部のスイッチを（弱/L0）に切換えてください。（詳しくは7ページの『チューナ感度選択スイッチについて』をご覧ください。）
- ワイヤレスマイクを2本以上ご使用の場合は、マイクロホンどうしは50センチメートル以上離してください。

ご注意

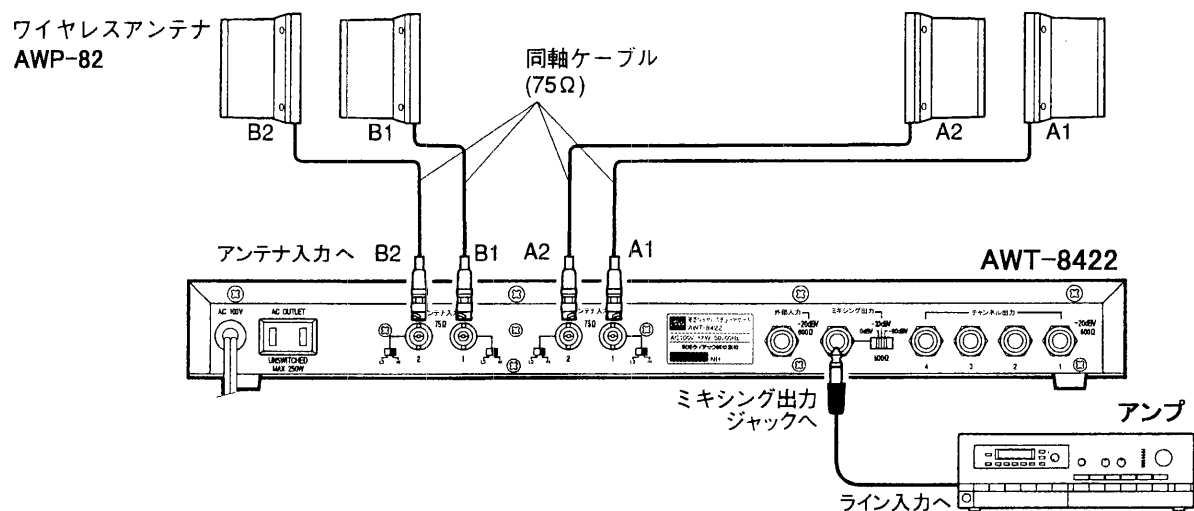
使用中のワイヤレスマイクと同一周波数の他のワイヤレスマイクを「ON」にすると「ピー」という音がすることがあります。

機器間の接続のしかた

使用チャンネル数別の接続例は、次のとおりです。

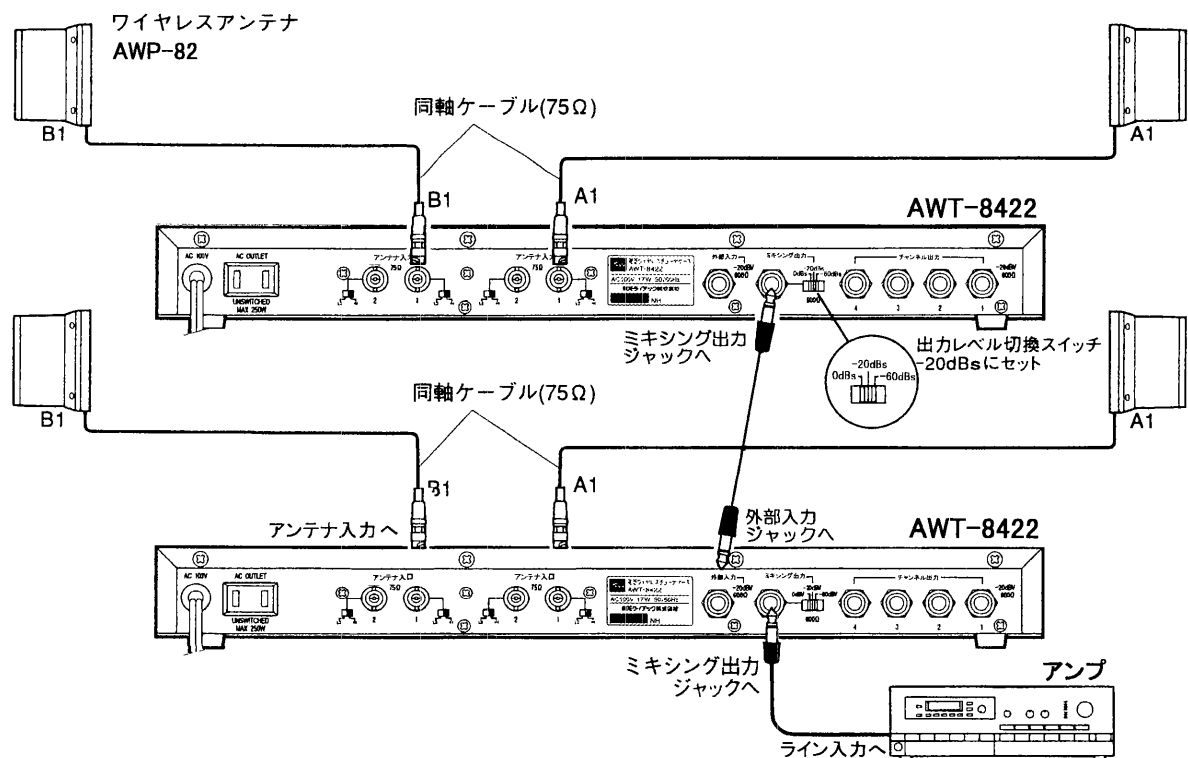
■ 1～4チャンネルの場合（アンテナ4台）

- 下図は、ワイヤレスチューナケース AWT-8422 の場合の接続例です。
- 1～2チャンネルの場合は、ワイヤレスチューナケースは AWT-8222 となります。



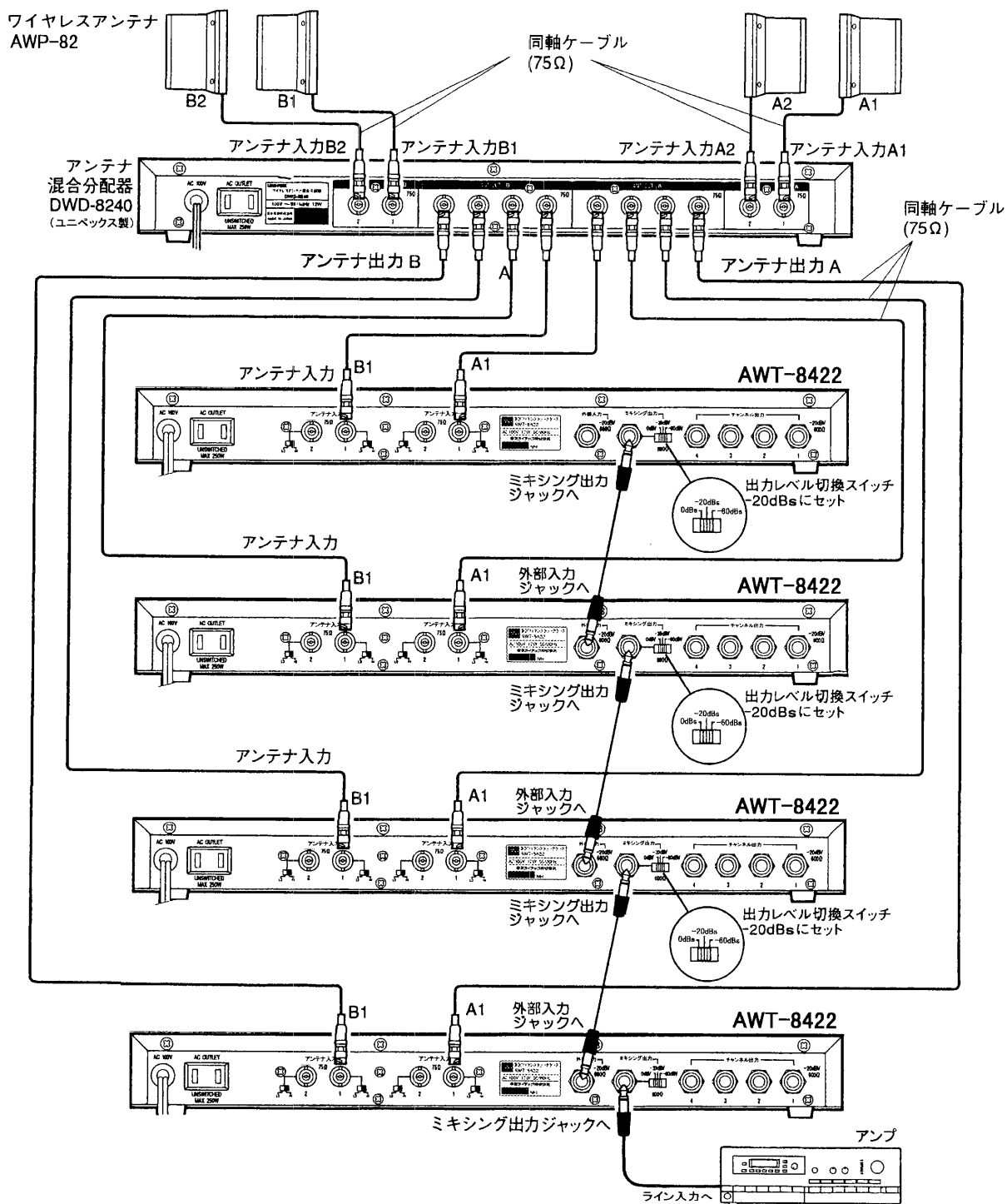
■ 5～8チャンネルの場合（アンテナ4台）

- 下図は、7～8チャンネルの場合（ワイヤレスチューナケース AWT-8422, 2台）の接続例です。
- 5～6チャンネルの場合は、ワイヤレスチューナケース AWT-8422, 1台と AWT-8222, 1台の接続となります。



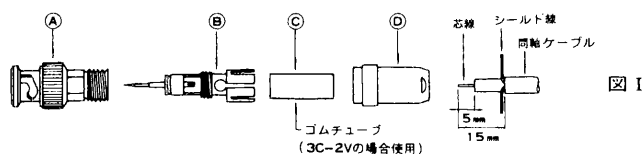
■ 9～15チャンネルの場合（アンテナ4台）

- 下図は、15チャンネルの場合（ワイヤレスチューナケース AWT-8422, 4台）の接続例です。
- 別売のアンテナ混合分配器 DWD-8240（ユニベックス製）が1台必要となります。
- 9～12チャンネルの場合は、ワイヤレスチューナケース AWT-8422が3台の接続となります。
- 13～14チャンネルの場合は、ワイヤレスチューナケース AWT-8422, 3台と AWT-8222, 1台の接続となります。

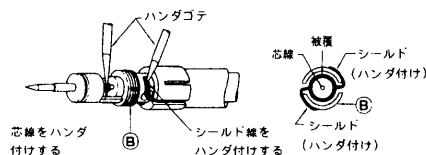


BNCコネクタと同軸ケーブルの接続のしかた

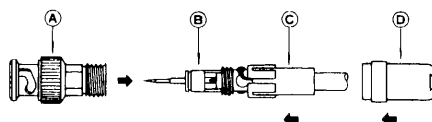
- BNCコネクタを図Ⅰのように①～④に分解し、④、③（3C-2Vの場合使用）を同軸ケーブルに通します。
- 同軸ケーブルの先端から15mmのところまで外皮をナイフで取り除きます。
- シールド線は2等分してよりあわせ、芯線は5mm出るよう絶縁物を取り除きます。（図Ⅰ）
- ②を同軸ケーブルに通し図Ⅱのようにシールド線を②にまきつけシールド線、芯線を各々ハンダ付けします。
- 図Ⅲのように②と同軸ケーブルの間に③を通しスパナで①を②にねじ込み次に①に④をねじ込んで固定して完了です。（図Ⅳ）



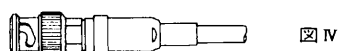
図Ⅰ



図Ⅱ



図Ⅲ



図Ⅳ

平衡トランスの取付けのしかた

※別売LT-16はユニベックス製です。



警告

サービスマン以外の方は、カバーをあげないでください。
本体内部にはAC100V回路部分があり、さわると感電の恐れがあります。
この平衡トランス取り付けは必ずお買いあげの販売店か東芝お客様ご相談センターにご依頼ください。

- 取付作業をおこなう場合は、必ず本機の電源プラグをACコンセントから抜き取ってから作業してください。
 - 本機をラックに取付けてご使用になる場合や、本機の出カコードを長くされる場合は平衡トランスLT-16（別売）を取付けることによって雑音の影響を低減できます。
- ① 図4のようにカバー止めねじ10本をはずし、カバーを取りはずしてください。
 - ② 内部にLT-16を取付けるプリント基板があります。その基板を取付けているねじ4本と、後面パネルの各ジャックを固定しているナットとワッシャをはずしてください。（図5）
 - ③ プリント基板を図5の矢印の方向に引き、後面パネルより各ジャックを取りはずしてください。（図6）
 - ④ LT-16を取付ける位置（ミキシング出力ならばT1 MIXING）のジャンパー線2本を取りはずしてください。（図6）
 - ⑤ LT-16を差し込み、プリント基板裏面よりハンダ付けをおこなってください。
 - ⑥ LT-16のピンが長いため、そのままですとシャーシに接触します。接触しない長さにピンを切断してください。
 - ⑦ 外した基板と各ジャックを元どおり固定します。カバーを閉める前に、隣の基板に接続されている同軸ケーブル用ミニピンプラグがはずれていないか、必ず確認してください。

図4

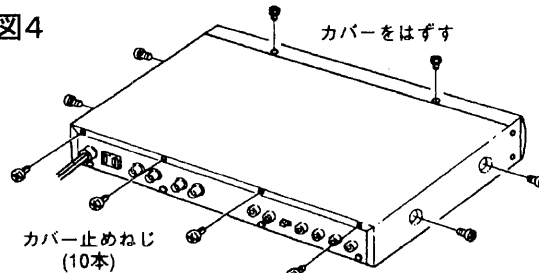


図5

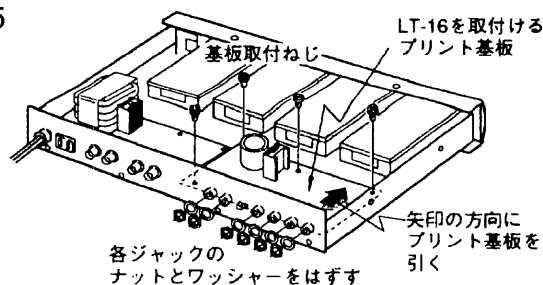
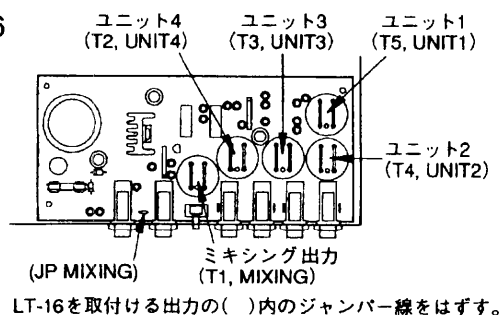
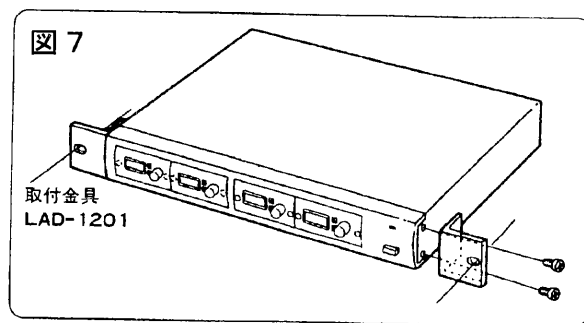


図6



ラックマウントのしかた

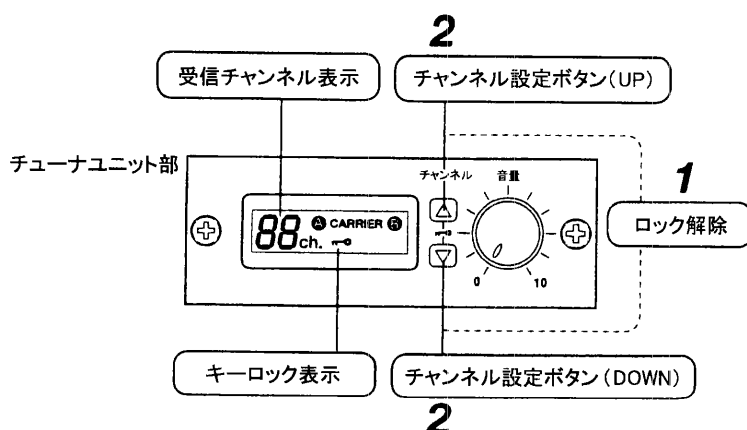
- 別売のラック取付金具LAD-1201で図7のように取付けます。
- 本機のゴム足をはずします。
- LAD-1201付属の飾りワッシャとねじでラックに取付けてください。
- ラック内部の温度上昇に配慮し、ワイヤレス受信機が高温にならないようにしてください。
- 本機の出力を接続する機器との相互関係で、雑音が発生することがあります。その場合は使用する出力に平衡トランスLT-16(別売)を取付けてください。



ワイヤレスチューナユニット（別売）のチャンネル設定のしかた

- マイクと受信機(チューナユニット)は、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用するマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルを変えてください。
[同グループ、異チャンネル] (表1 周波数一覧表を参照)
- 多チャンネル(最大15チャンネル)使用の場合は、多チャンネル使用について(13ページ)を参照してください。

■チャンネル設定のしかた



1. チャンネル設定ボタン(UP・DOWN)を両方同時に、キーロック表示(キーマーク)が消えるまで押し続けキーロックを解除させてください。
2. チャンネル設定ボタン(UP・DOWN)のいずれかを押し、ワイヤレスマイクのグループ・チャンネル番号と同じ数字に合わせてください。(右表参照)
3. チャンネル設定操作を終了後、約20秒経過しますと自動的にキーロック状態(キーマーク表示)になり、設定操作は受け付けません。又最後に設定したグループ・チャンネル番号は受信機の電源を切っても記憶されています。

ご注意

チャンネル設定操作の途中でも約20秒間、操作が中断しますとキーロック状態になります。1. の操作で再びキーロックを解除し設定操作をしてください。

表1 周波数一覧表

受信周波数(0125MHz 間隔、30 波)							
周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)・チャンネル(下1桁目)番号						
	1	2	3	4	5	6	7
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000				B43			
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

チャンネルのグループについてのご注意

1. 同一場所で、マイクを同時に使用する場合は、1グループで1システム単独使用にしてください。(同一場所で2グループ以上の同時使用はできません。)

- グループ1～4の中から1つ選んでシステムを組めば、最大6チャンネルまで使えます。
- グループ5は5チャンネル、グループ6は1チャンネル使えます。

2. グループ7はグループ1～6の中から選定された周波数で構成されており、次の条件下で十分に注意して使用したときは、7チャンネルの組み合わせも可能となります。

- ワイヤレスマイク間を50cm以上離す。
- ワイヤレスマイクとアンテナ間を2m以上離す。
- 隣り合った部屋ではワイヤレスマイクを使用しない。

	周波数 (MHz)	グループ/チャンネル番号						
		グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グループ7
1	806.125	B11						B71
2	806.250		B21					
3	806.375	B12						B72
4	806.500		B22					
5	806.625			B31				
6	806.750				B41			
7	806.875			B32				B73
8	807.000		B23					
9	807.125	B13						
10	807.250						B61	
11	807.375			B33				
12	807.500				B42			B74
13	807.625					B51		
14	807.750	B14						
15	807.875		B24					
16	808.000				B43			
17	808.125					B52		
18	808.250			B34				
19	808.375					B53		
20	808.500		B25					B75
21	808.625			B35				
22	808.750					B54		
23	808.875		B26					
24	809.000	B15						
25	809.125				B44			
26	809.250			B36				
27	809.375				B45			B76
28	809.500	B16						
29	809.625					B55		
30	809.750				B46			B77

多チャンネル（最大15チャンネル）使用について

- 多チャンネル（最大15チャンネル）使用するためには、ワイヤレスマイク、ワイヤレスチューナ、アンテナ、分配器が、各々15チャンネル同時使用対応機種とする必要があります。

15チャンネル同時使用対応機種

ワイヤレスマイク …… WM-8030A, 8130A, 8240, 8330A (ユニパックス製)
 ワイヤレスチューナ …… AWU-841
 ワイヤレスアンテナ …… AWP-82
 分配器 …… DWD-8240 (ユニパックス製)

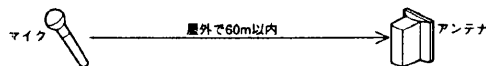
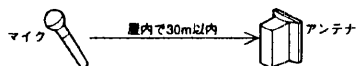
- 15チャンネルの組み合わせは、グループ1～6の中から選定されたチャンネルで構成された白グループと青グループの2グループです。(右表参照)
- 同時に使用するマイクは、同グループ(右表の白または青)・異チャンネルにしてください。

白グループ	チャンネル番号	周波数(MHz)	青グループ	チャンネル番号	周波数(MHz)
1	B11	806.125	1	B21	806.250
2	B12	806.375	2	B22	806.500
3	B31	806.625	3	B41	806.750
4	B32	806.875	4	B23	807.000
5	B13	807.125	5	B61	807.250
6	B33	807.375	6	B42	807.500
7	B51	807.625	7	B14	807.750
8	B24	807.875	8	B43	808.000
9	B52	808.125	9	B34	808.250
10	B53	808.375	10	B25	808.500
11	B35	808.625	11	B54	808.750
12	B26	808.875	12	B15	809.000
13	B44	809.125	13	B36	809.250
14	B45	809.375	14	B16	809.500
15	B55	809.625	15	B46	809.750

ワイヤレスマイクシステムの設計・設置について

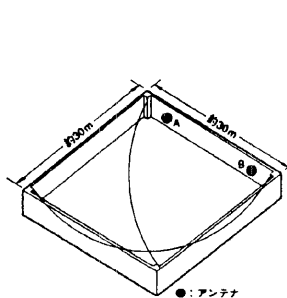
- ワイヤレスマイクシステムを導入するに当たっては下記の事項に注意して設計し、設置してください。

ワイヤレスマイクの使用距離(800MHz帯/300MHz帯共)

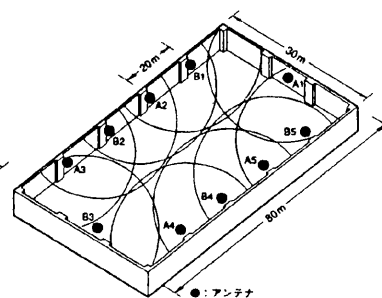


屋内でのアンテナの設置

- アンテナから半径30m以内がサービスエリアとなります。
- アンテナは500m²に1本の割合で配置してください。
- アンテナの間隔は、できるだけ5～20m以内にしてください。
- アンテナはワイヤレスマイクの使用範囲から直視できる位置に、垂直に設置してください。
- アンテナは電線や金属物から30cm以上離して設置してください。



アンテナを2本使用する場合



アンテナを多数使用する場合

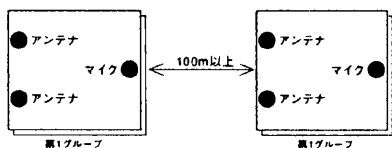
ダイバシティの場合の注意事項

- アンテナは必ず2本以上偶数本で使用してください。
- アンテナを必ず多数設置する場合は、AとBのアンテナを交互に設置してください。

同一グループを近接場所で同時に使用する場合

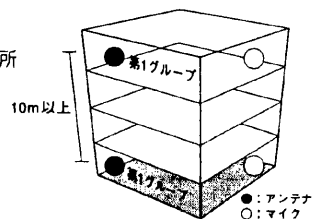
同一平面の場合

- お互いの使用場所を100m以上離してください。



階層が異なる場合

- 鉄骨/鉄筋構造の場合、お互いの使用場所を垂直距離で10m以上離してください。(木造の場合は不可)

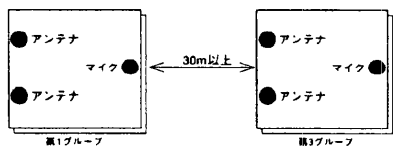


他のグループを近接場所で同時に使用する場合

例えば800MHz帯の第1グループ(B11～B16)と第3グループ(B31～B36)を近くで同時に使用の場合は、以下のような注意が必要です。

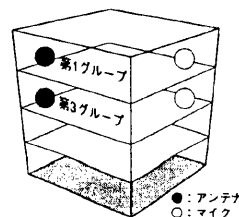
同一平面の場合

- お互いの使用場所を30m以上離してください。



階層が異なる場合

- 鉄骨/鉄筋構造の場合、階層が異なれば、同一平面の場合のような制限はなく使用できます。(木造の場合は不可)



注：同一閉空間(仕切りは壁、戸、ガラス等)では、1つのグループ(800MHz帯では6chまで、300MHz帯では4chまで)しか同時使用できません。

800MHz帯と300MHz帯の同時使用

※800MHz帯の一つのグループ(6ch)と300MHz帯(4ch)は、同一場所で同時に使用できます。従って10chまで使用可能になります。この場合800MHz帯と300MHz帯のアンテナは50cm以上離して設置してください。

ご注意

※上記資料はあくまで標準例のみを記述しています。設置場所によってはいろいろな数値が大きく異なる場合があります。実際のシステムの設置に際しては事前に充分テストを行い、アンテナの設置位置決めや利得調節を行って最適システムを構築してください。

修理サービス

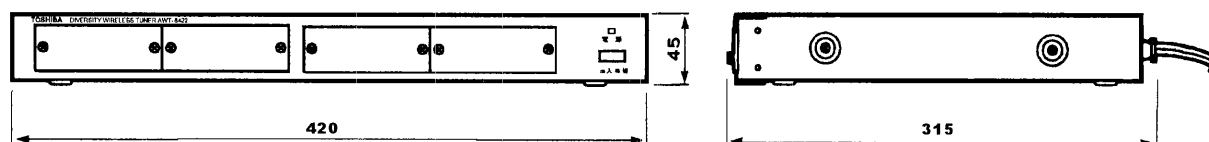
ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名(AWT-8222, 8422)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕様および外形寸法図

形 名	AWT-8222	AWT-8422
使 用 電 源	AC100V 50/60Hz	
消 費 電 力	13W	17W
チューナユニット組込み台数	最大2台	最大4台
ア ン テ ナ 入 力	75Ω (BNC) 2入力2系統 (チューナ感度選択スイッチ付き、ファンタム電源出力：12V 40mA×4)	
ミ キ シ ン グ 出 力	0, -20, -60dBs 600Ω 不平衡 切換式 (平衡トランス取付可能)	
ユ ニ ッ ト 出 力	-20dBs 600Ω 不平衡 (平衡トランス取付可能)	
外 部 入 力	-20dBs 600Ω 不平衡	
歪 率	0.5%以下	
周 波 数 特 性	50Hz～15kHz 偏差3dB	
使 用 温 度 範 囲	0～+40℃	
外 観 色 調	パネル：(アルミニウム)マンセルN1近似色 黒 ケース：(ビニールラミネート鋼板)マンセルN1近似色 黒	
寸 法	幅420mm 高さ45mm 奥行315mm	
質 量	約3.4kg	約3.5kg
付 属 品	取扱説明書…………… 1 3極大形単頭プラグ…………… 2 東芝お客様ご相談センター一覧表… 1 電源ヒューズ (AWT-8222… 1A, AWT-8422… 1.25A) …… 1	
適 合 ワイヤレスマイク	800MHzワイヤレスマイク(ユニペックス製)	
適 合 品	ワイヤレスアンテナ AWP-82, AWP-81 混合分配器 DWD-8240(ユニペックス製) AWD-8230, AWD-121 ラック取付金具 LAD-1201 平衡トランス LT-16(ユニペックス製) チューナユニット AWU-841	

単位：mm

● AWT-8422



● AWT-8222

